

「小・中学校等避難所空調設備設置工事 請負契約の締結」を可決

「災害発生時における信頼性の高い情報連携体制の構築への支援を求める意見書」、「聴覚補助機器等の積極的な活用への支援を求める意見書」を可決

小・中学校等避難所空調設備設置工事請負契約の締結を可決

法令に基づき、制限付一般競争入札を行い、議案第46号の中学校等避難所空調設備設置工事請負契約は、正和・本田特定建設工事共同企業体が落札業者となりました。また、議案第47号の小学校避難所空調設備設置工事請負契約は、正和・ABC特定建設工事共同企業体が、落札業者となりました。

主な工事内容は、避難所として指定されている小・中学校など12校の体育館への空調設備、換気設備の設置および照明のLED化です。

今回契約予定の12校と現在実施中の他工事などを合わせると、令和6年度中には、小・中学校など34校のうち、20校の体育館に空調設備が設置できる見込みとなります。

【全員一致で原案可決】

議員提出議案

災害発生時における信頼性の高い情報連携体制の構築への支援を求める意見書

現在、情報通信技術の進歩と、それに伴う様々なサービスの拡大により、私たちはいつでもどこでも、情報を入手したり、発信したりすることができます。そのため、インターネット上には膨大な情報やデータが流れていますが、その中には事実とは異なる、偽情報や誤情報が流されることもあり、適切な対処が必要です。

特に、災害発生時における情報は、多くの人々の命に直結する重要なものであり、現在、必死の復旧と復興を進めている能登半島地震においても、多くの偽情報が発信され、現場は大変混乱したとされ、

具体的には、救援を求める情報を受けて現場に行っても、誰もいなかったというケースも多々あったと聞いています。また、被災地の状況を知らせる画像情報においても、現場の実態とは全く違う合成されたと思われる画像も拡散されていました。

いつどこで発生するか分からない災害に対して、特に発生直後は情報が大変に混乱する中で、被災者の命を救うために、1分1秒も無駄にはできません。その活動を大きく阻害する偽情報の拡散防止は喫緊の課題です。

よって、政府に対して、災害発生時における信頼性の高い情報連携体制の構築に向けての支援の積極的な推進を求め、強く要望します。

記

1 情報発信者や情報発信機器の事前登録等により、情報の信頼性を担保し、現場から

の正確な情報を収集し活用する情報連携環境を整備すること。

2 IOTセンサーやドローンを活用して、リアルタイムで国と地方自治体の災害情報共有体制を整備すると同時に、適切な情報分析と迅速な対策を促す気象防災アドバイザーの自治体への配置を支援すること。

3 正確な情報を発信する公的情報サイトや政府認定のアプリケーション等、国民への普及を強力に推進すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。
令和6年6月17日 春日部市議会

衆議院議長 様
参議院議長 様
内閣総理大臣 様
総務大臣 様
デジタル大臣 様
国土交通大臣 様
内閣府特命担当大臣(防災) 様

【全員一致で原案可決】

聴覚補助機器等の積極的な活用への支援を求める意見書

今日、社会の高齢化に比例して、難聴の方も年々増加しています。難聴は認知症の危

険因子の一つと言われており、また難聴になると、人や社会とのコミュニケーションを避けがちになり、その後社会的に孤立する可能性も懸念されています。

この難聴対策として補聴器が知られていますが、一般的に「補聴器」と呼ばれているものは、収集した音を増幅して外耳道に送る「気導補聴器」となり、一方で様々な原因で外耳道が閉鎖している方には、骨導聴力を活用する「骨導補聴器」が用いられてきました。

近年、これらの2種類の補聴器に加えて、耳の軟骨を振動させて音を伝える「軟骨伝導」等の新しい技術を用いたイヤホンが開発されています。この聴覚補助機器は、従来の気導・骨導補聴器では十分な補聴効果が得られない方や、装着そのものが難しい方に対しての新たな選択肢となっています。

このように、さまざまな難聴者に適応できる聴覚補助機器等の選択肢が整った今、政府に対して、我が国の更なる高齢化の進展を踏まえて、認知症の予防とともに、高齢者の積極的な社会参画を実現するために、下記の事項について

て聴覚補助機器等の積極的な活用を促進する取り組みを強く求めます。

記

1 難聴に悩む高齢者が、医師や専門家の助言のもとで、自分に合った聴覚補助機器等を積極的に活用する環境を整えること。

2 耳が聞こえにくい高齢者や難聴者と円滑にコミュニケーションを取れる社会の構築を目指し、行政等の公的窓口などに、合理的配慮の一環として聴覚補助機器等の配備を推進すること。

3 地域の社会福祉協議会や福祉施設との連携のもと、聴覚補助機器等を必要とする人々への情報提供の機会や場の創設等、聴覚補助機器等を普及させる社会環境を整えること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。
令和6年6月17日
春日部市議会

衆議院議長 様
参議院議長 様
内閣総理大臣 様
厚生労働大臣 様
内閣府特命担当大臣(民生社会) 様
総務大臣 様
【全員一致で原案可決】

6月定例会 審議結果

市長提出議案

(○:賛成 ×:反対)

議案番号	議案名 ()は付託委員会名	審議結果	無所属の会	自民・かすかべ!	次世代	公明党	日本共産党	立憲民主党	日本維新の会	無所属
議案第39号	専決処分の承認を求める(税条例の一部改正)(総務)	承認	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第40号	専決処分の承認を求める(都市計画税条例の一部改正)(総務)	承認	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第41号	専決処分の承認を求める(国民健康保険税条例の一部改正)(厚生福祉)	承認	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第42号	専決処分の承認を求める(固定資産評価員の選任)(総務)	承認	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第43号	税条例の一部改正(総務)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第44号	家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正(厚生福祉)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第45号	水道事業の布設工事監督者及び水道技術管理者に関する条例の一部改正(建設)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第46号	中学校等避難所空調設備設置工事請負契約の締結(教育環境)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第47号	小学校避難所空調設備設置工事請負契約の締結(教育環境)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第48号	牛島小学校校舎トイレ改修工事請負契約の締結(教育環境)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第49号	川辺小学校校舎トイレ改修工事請負契約の締結(教育環境)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第50号	桜川小学校校舎トイレ改修工事請負契約の締結(教育環境)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第51号	財産の取得(春日部消防署備後分署災害対応特殊救急自動車及び高度救命処置用資機材)(総務)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第52号	令和6年度一般会計補正予算(第1号)(総務・厚生福祉)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第53号	令和6年度一般会計補正予算(第2号)(総務・厚生福祉)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第54号	令和6年度国民健康保険特別会計補正予算(第1号)(厚生福祉)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第55号	令和6年度国民健康保険特別会計補正予算(第2号)(厚生福祉)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第56号	財産の取得(春日部消防署災害対応特殊消防ポンプ自動車CD-II型(13mブーム付))(総務)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第57号	財産の取得(春日部消防団第1分団消防ポンプ自動車CD-I型)(総務)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○

諮問

(○:賛成 ×:反対)

諮問番号	諮問名 ()は付託委員会名	審議結果	無所属の会	自民・かすかべ!	次世代	公明党	日本共産党	立憲民主党	日本維新の会	無所属
諮問第2号	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求める [藤田 幸子 氏](付託省略)	推薦に賛成	○	○	○	○	○	○	○	○

議員提出議案

(○:賛成 ×:反対、-:退席)

議案番号	議 案 名 () は付託委員会名	審議結果	自 民 無 所 属 の 会	次 世 代 か す か へ	公 明 党	日 本 共 産 党	立 憲 民 主 党	日 本 維 新 の 会	無 所 属
議第 8 号議案	地域における「こども誰でも通園制度」の制度拡充等を求める意見書 (付託省略)	原案可決	○	○	○	×	○	○	○
議第 9 号議案	下水道の維持管理・更新におけるウォーター P P P 導入に向けての丁寧な対応を求める意見書 (付託省略)	原案可決	○	○	○	×	○	○	○
議第 10 号議案	災害発生時における信頼性の高い情報連携体制の構築への支援を求める意見書 (付託省略)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議第 11 号議案	聴覚補助機器等の積極的な活用への支援を求める意見書 (付託省略)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議第 12 号議案	食料自給率を引き上げ、希望が持てる農業への転換を求める意見書 (付託省略)	否 決	×	×	×	○	○	×	○ ₂ × ₁
議第 13 号議案	政党助成制度の廃止を求める意見書 (付託省略)	否 決	×	×	×	○	×	×	○ ₁ × ₂
議第 14 号議案	地方自治法の改正に反対する意見書 (付託省略)	原案可決	○	×	×	○	○	×	○ ₂ × ₁
議第 15 号議案	離婚後「共同親権」を削除することを求める意見書 (付託省略)	否 決	×	×	×	○	○	×	×
議第 16 号議案	企業・団体献金の全面禁止を求める意見書 (付託省略)	否 決	-	×	×	○	○	○	○

新たな正・副議長が 決まりました

6月定例会において、議長、副議長が辞職したことに伴い、選挙の結果、議長に小久保議員、副議長に栗原議員が選出されました。また、常任委員会委員等においても変更がありました。

正・副議長の就任のあいさつ



市議会副議長
栗原信司



市議会議長
小久保博史

市民の皆さまにおかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

このたび、令和6年6月春日部市議会定例会におきまして、皆さま方の信任を賜り、議長・副議長に就任いたしました。身に余る光栄であると同時に、その職責の重さに身の引き締まる思いでございます。

さて、昨年に引き続き、お祭りやイベントが盛大に開催されるなど、市内に活気と笑顔が戻ってきていると感じておりますが、一方で少子高齢化や高騰する物価への対応、災害に対する備えなど、本市ではさまざまな課題に取り組んでおります。

今後におきましても、市民の皆さまの期待と信頼にお応えできるよう、二元代表制の一翼を担う春日部市議会といたしましても、行政への監視機能を果たしつつ、市政の充実と発展、住民福祉の向上に向けて、誠心誠意努めてまいります。

結びに、市民の皆さまにおかれましては、今後とも、春日部市議会へのより一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。就任のあいさつといたします。

委員会の構成

名 称		氏 名 (◎は委員長、○は副委員長)			
常任委員会	総務委員	◎山口 剛一 阿部 雅一	○藤原 智子 山崎 進	酒谷 和秀 荒木 洋美	大野とし子 (欠員1)
	厚生福祉委員	◎木村 圭一 水沼日出夫	○会田 吉幸 奥沢 裕介	榛野 博 大里 昇	並木 敏恵 小久保博史
	建設委員	◎吉田 稔 金子 進	○鈴木 一利 鬼丸 裕史	古沢 耕作 河井 美久	今尾 安徳
	教育環境委員	◎永田 飛鳳 平沢 一博	○伊藤 一洋 中村 貴彰	木下三枝子 栗原 信司	石川 友和
議会運営委員会委員		◎石川 友和 阿部 雅一	○鈴木 一利 山崎 進	並木 敏恵 吉田 稔	山口 剛一 木村 圭一
議会改革検討特別委員会委員		◎鬼丸 裕史 石川 友和 大里 昇	○木村 圭一 平沢 一博 吉田 稔	大野とし子 奥沢 裕介	山口 剛一 藤原 智子
中心市街地まちづくり検討特別委員会委員		◎山崎 進 山口 剛一 木村 圭一	○阿部 雅一 中村 貴彰	永田 飛鳳 大里 昇	今尾 安徳 吉田 稔
地域拠点整備検討特別委員会委員		◎荒木 洋美 平沢 一博 鬼丸 裕史	○金子 進 伊藤 一洋	木下三枝子 奥沢 裕介	石川 友和 鈴木 一利
広報広聴委員会委員		◎会田 吉幸 伊藤 一洋	○木下三枝子 中村 貴彰	山口 剛一 藤原 智子	平沢 一博 大里 昇
図書室運営委員会委員		◎会田 吉幸 伊藤 一洋	○木下三枝子 中村 貴彰	山口 剛一 藤原 智子	平沢 一博 大里 昇

議会選出各種議会議員・委員会等委員

名 称	氏 名			
埼玉葛斎場組合議会議員	永田 飛鳳 金子 進	今尾 安徳 河井 美久	阿部 雅一	鈴木 一利
埼玉県都市ボートレース企業団議会議員	小久保博史			
利根川栗橋流域水防事務組合議会議員	会田 吉幸	藤原 智子		
江戸川水防事務組合議会議員	奥沢 裕介	鬼丸 裕史	木村 圭一	(藤枝 哲也)※
監査委員	水沼日出夫			
市立医療センター運営委員会委員	木下三枝子 中村 貴彰	永田 飛鳳 鬼丸 裕史	石川 友和 吉田 稔	阿部 雅一 荒木 洋美
国民健康保険運営協議会委員	大野とし子 荒木 洋美	金子 進	山崎 進	河井 美久
民生委員推薦会委員	会田 吉幸	阿部 雅一		
都市計画審議会委員	並木 敏恵	山口 剛一	奥沢 裕介	鈴木 一利
空家等対策協議会委員	山崎 進			

※ 議員以外から選出